



西中学校通信

第5号

自主的に考え、正しく行動できる生徒 <自立と自律>

形が心をつくり 心が形を磨く

「気持ちが大切で、形や見かけは関係ない。」という人がいます。以前に比べれば増えてきているように思います。子供ばかりでなく大人の中にも、このように言う人が多くなりました。

しかし、本当にそうなのでしょうか。気持ちがあっても行為（形）として表さなければ、相手には伝わらず、また、気持ちが本物なら自然と行為（形）に表われるものではないかと思うのです。

心が先か、形が先かは別問題としても、形を整えると心も、そのようになっていくということは確かにあると思うのです。

時に、教師は、生徒の形を指導することがありますが、それは単に、見かけのことだけを指導しているではありません。その形（行為）の裏にある心（気持ち）がどうであるかを問うているのです。

行為の意味

宮澤 章二

あなたの「こころ」はどんな形ですかと
自分にも他人にも「こころ」は見えない
確かに「こころ」はだれにも見えない
それは人に対する積極的な行為だから
同じように胸の中の「思い」は見えない
それも人に対する積極的な行為だから
あたたかい心が、あたたかい行為になり
「心」も「思い」も初めて美しく生きる

ひとに聞かれても答えようがない。
けれど、ほんとうに見えないのであろうか
けれど「こころづかい」は見えるのだ
けれど「思いやり」はだれにでも見える
やさしい思いが、やさしい行為になるとき
それは人が人として生きることだ

(裏面あり)

通常日課の様子



1年生授業（教室）



2年生授業（教室）



3年生授業（教室）



音楽授業（音楽室）



技術授業（技術室）



美術授業（美術室）



給食前の手洗い（1年生）



給食配膳（3年生）



給食配膳（2年生）



給食（配膳終了を待つ2年生）



給食（おおぞら学級）



給食後の歯磨き（3年生）



体育授業（3年生球技選択）



用具の消毒準備



使用したボールの消毒